

平成25年度前期 学生による授業評価アンケート集計結果

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

平成25年7月10日(水)から8月6日(火)まで (※ 集中講義は別途実施)

(3) 実施科目

アンケート実施率は93.5%(昨年度同期91.3%)で、回答率は79.5%(昨年度同期79.8%)であった。

科目区分	開講科目	実施対象科目	実施科目	アンケート実施率	アンケート実施科目			※ 昨年度同期回答率
					受講登録者数	回答数	回答率	
環境科学部	112	106	92	86.8%	4,623	3,404	73.6%	75.0%
工学部	85	85	84	98.8%	4,698	3,558	75.7%	77.5%
人間文化学部	145	141	127	90.1%	5,166	3,996	77.4%	77.4%
人間看護学部	35	28	28	100.0%	1,817	1,682	92.6%	95.9%
全学共通教育	228	224	218	97.3%	6,509	5,795	89.0%	89.4%
人間学	29	29	24	82.8%	2,710	1,868	68.9%	73.7%
合計	634	613	573	93.5%	25,523	20,303	79.5%	79.8%

*本年度は、語学科目の Semester 制や国際コミュニケーション学科2年次科目等により、開講科目が12.8%増加した。(昨年は26.0%増加)

*アンケート実施率は、実施対象科目に対する実施率を表す。

*開講科目から実習等の科目を除き、実施対象科目としている。

*全学共通教育の開講科目のうち、国際コミュニケーション学科の英語 I～IVのa.bはそれぞれ2人の教員で担当しているため、計16科目で計算している。

(4) 設問内容

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか

- ①4回以上欠席 ②3回欠席 ③ 2回欠席 ④1回欠席 ⑤すべて出席

設問2 この授業に対するあなたの受講態度は真剣でしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか

- ①0分 ②0～10分 ③10～30分 ④30分～1時間 ⑤1時間以上

設問4 授業内容は興味の持てるものでしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問5 授業レベルはどう思いましたか

- ①低度 ②やや低度 ③適度 ④やや高度 ⑤高度

- 設問6 授業は理解できましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問7 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問8 この授業は履修の手引きの内容と一致していましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問9 教員の教え方は適切でしたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問10 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問11 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問12 この授業の満足度は、どの程度ですか
①とても低い ②やや低い ③普通 ④やや高い ⑤とても高い
- 設問13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置を取りましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

※ このほかに自由記述あり

2. アンケートの集計結果

(1) 平均ポイント (学部等別)

アンケート項目								H24	H23
	環境	工	人文	人看	全共	人間学	全学	全学	全学
Q1.授業への出席	4.3	4.4	4.1	4.9	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3
Q2.受講態度は真剣だったか	3.7	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7
Q3.この授業に対する学習時間	2.8	2.8	2.2	2.9	2.6	2.3	2.6	2.5	2.5
Q4.授業内容への興味	3.6	3.5	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6
Q5.授業レベル	3.9	3.9	4.1	4.1	4.2	4.3	4.1	4.0	4.0
Q6.授業の理解	3.3	3.2	3.4	3.4	3.6	3.6	3.4	3.4	3.3
Q7.より深く学びたくなったか	3.4	3.3	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4
Q8.履修の手引きとの一致度	3.6	3.5	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5
Q9.教員の教え方は適切か	3.6	3.5	3.7	3.6	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6
Q10.教え方で優れていた点									
Q11.教え方で工夫すべき点									
Q12.授業の満足度	3.5	3.4	3.5	3.5	3.7	3.6	3.5	3.5	3.5
Q13.迷惑行為に対する対応	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4	-

※ Q10およびQ11については、ポイント評価でないため平均ポイントは示していない。

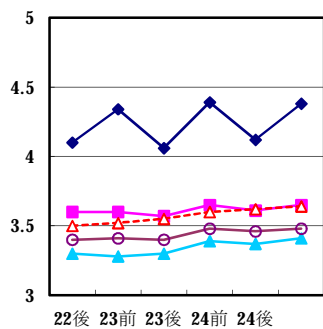
今年度前期の全学平均のポイントは、昨年度に引き続き微増している。

(2) 平均ポイントの学期別推移（過去3カ年）

出席・興味・理解・深化・手引きに関する学部等別のポイント

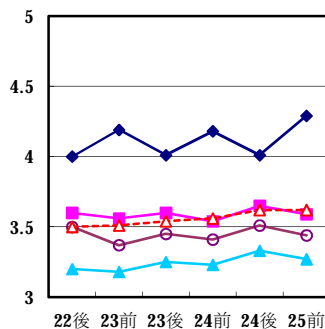


ア 全学



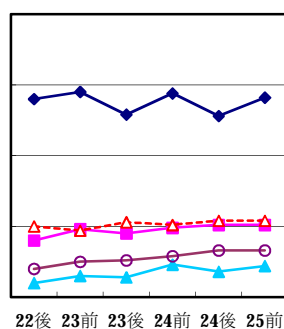
出席は、前期が高く後期が低い傾向が続いている。
全体的に微増の傾向が続いている。

イ 環境科学部



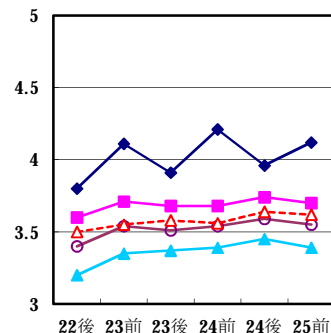
全体的に微増の傾向が続いている。

ウ 工学部



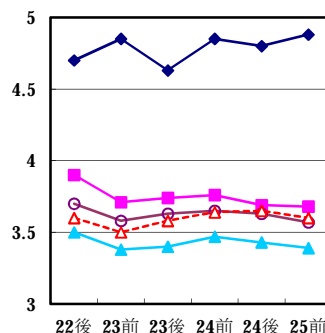
出席は平気して高く、深化、理解が上昇傾向にある。

エ 人間文化学部



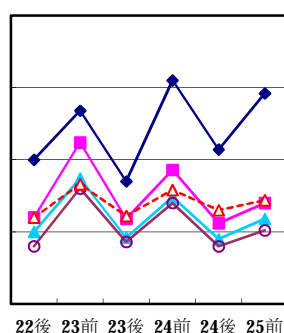
ほぼ同じような推移であるが、興味を除いてわずかに上昇傾向にある。

オ 人間看護学部



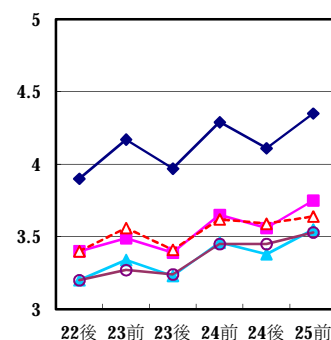
他学部 비해、出席のポイントが常に高いが、興味がわずかに下降傾向にある。

カ 全学共通教育推進機構



*23後までは、国際教育センターのデータ
24前と比較しても、すべてのポイントが下降している。

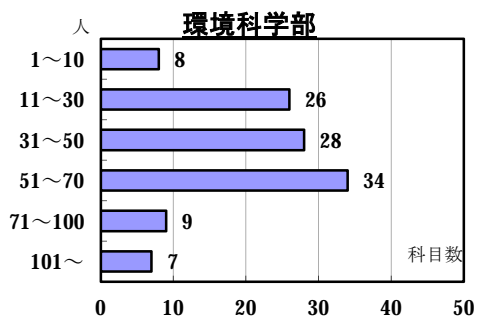
キ 人間学



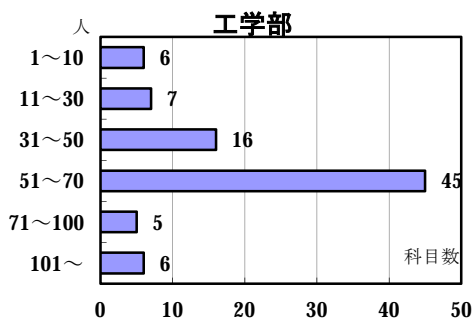
ほぼすべての項目において、上昇の傾向にある。

※ 参考（科目別受講登録者数の状況）

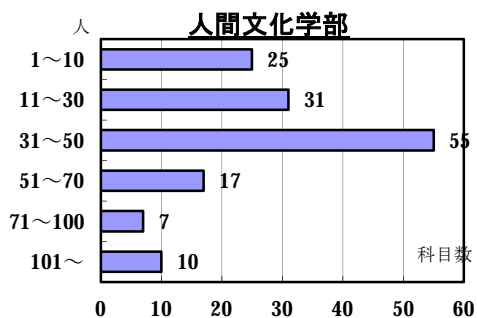
※ 前期科目のみ(通年開講科目は除く)



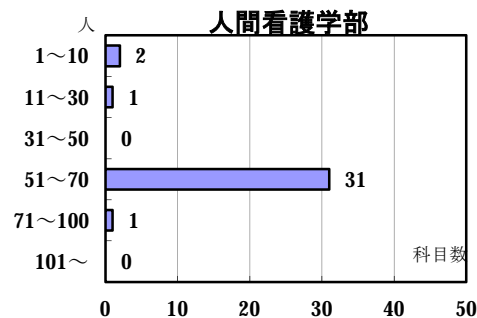
- 平均履修登録者数 49.1人
(H23:51人)(H24:48.7人)／科目



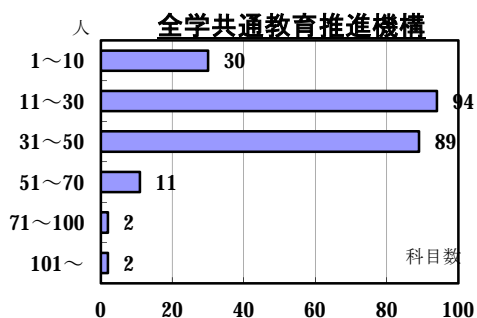
- 平均履修登録者数 55.9人
(H23:51.6人)(H24:55.2人)／科目



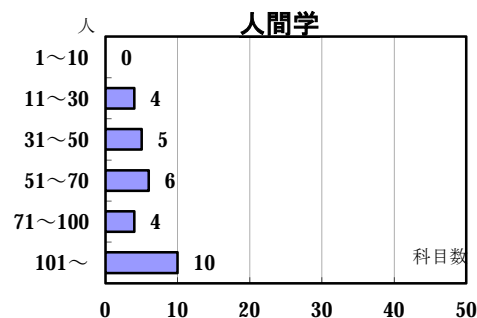
- 平均履修登録者数 40.1人
(H23:48.1人)(H24:43.3人)／科目



- 平均履修登録者数 59.7人
(H23:55.2人)(H24:57.2人)／科目



- 平均履修登録者数 29.0人／科目
(H24:26.5人)／科目



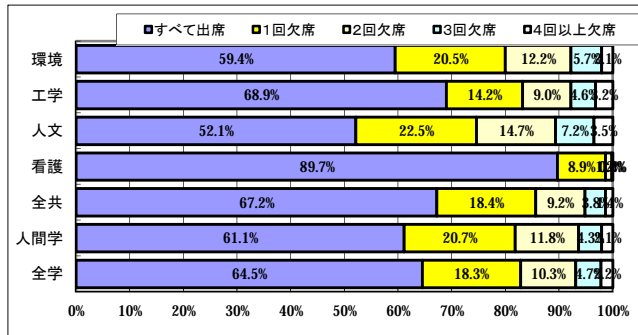
- 平均履修登録者数 105.6人
(H23:114.7人)(H24:108.1人)／科目

工学部、人間看護学部、全学共通教育の1科目当たりの履修登録者数の平均は年々増加している。人間文化学部は平均が年々減少傾向にあり、30人以下の授業が約39%ある。

なお、履修登録者数が10人以下の科目は、全学で71科目(H23:28科目,H24:45科目)と年々増加している。特に、人間文化学部(13科目→25科目)と全学共通教育(12科目→30科目)となっている。

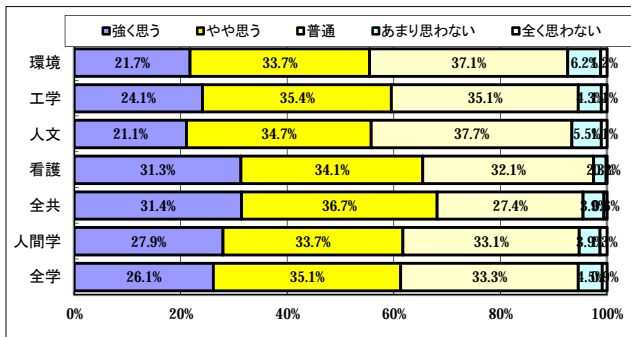
(3) 項目別結果 — 学部等別 —

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか



全学平均では「すべて出席」の授業が60%を超えており、例年同様人間看護学部の出席率が高い。
 分布は全体として例年とあまり変化はない。
 3回以上欠席するものは、人間文化学部で増加し1割を超えている。

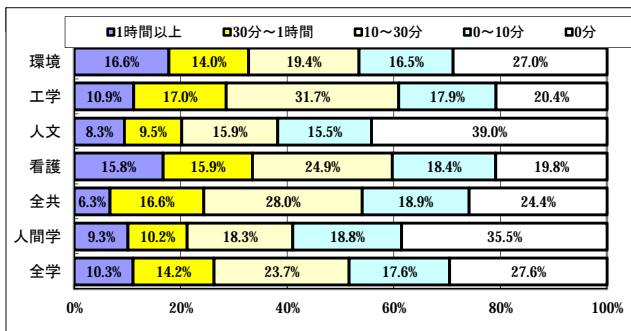
設問2 この授業に対するあなたの受講態度は真剣でしたか



受講態度は61.2%が真剣(「強く思う」「やや思う」と回答している)。
 前年同期と比較して、人間看護学部、全学共通教育は「真剣」とする割合が減少し、人間学においては「真剣」とする割合が増加した。

看護 H24前 71.3% → H25前 65.4%
 全共 H24前 76.6% → H25前 68.1%
 人間学 H24前 55.8% → H25前 61.6%

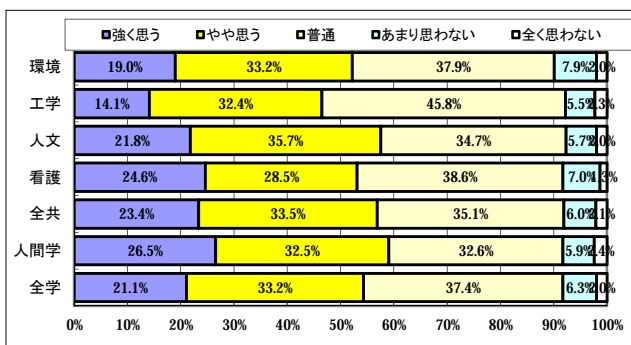
設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか



全学平均では、「0分」とする割合は33.2%から27.6%へ減少したが、一方で「30分~1時間」「1時間以上」とする割合の合計は各学部等で下記のとおりとなった。

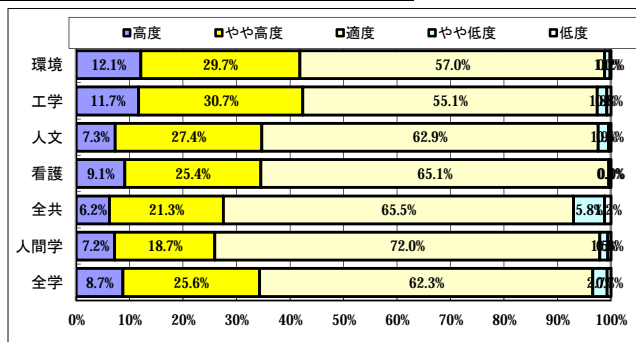
環境 H24前 28.4% → H25前 30.6%
 工学 H24前 26.3% → H25前 27.9%
 人文 H24前 19.8% → H25前 17.8%
 看護 H24前 26.8% → H25前 31.7%
 全共 H24前 33.3% → H25前 22.9%
 人間学 H24前 18.2% → H25前 19.5%
 全学 H24前 25.5% → H25前 24.5%

設問4 授業内容は興味を持てるものでしたか



前年同様、約半数は授業に興味を持っていると回答しているが、約1割弱で興味がないとする学生も存在し、特に人間看護学部と全学共通教育で増加している。
 また、特に全学共通教育では、興味を持てると「強く思う」「やや思う」と答えた割合が68.0%から56.9%に大幅に減少している。

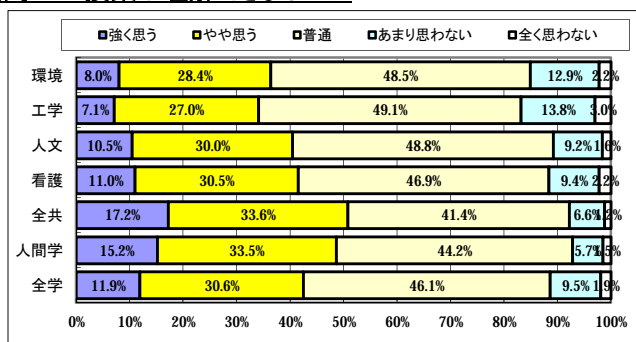
設問5 授業レベルはどう思いましたか



例年と同様の分布で、授業レベルについて「適度」とする割合が全学平均で6割を超え、「やや高度」と併せると、8割を超える科目でほぼ適切なレベルとなっていると思われる。

また、前年に引き続いて、全学共通教育において「やや低度」とする割合が高い。

設問6 授業は理解できましたか



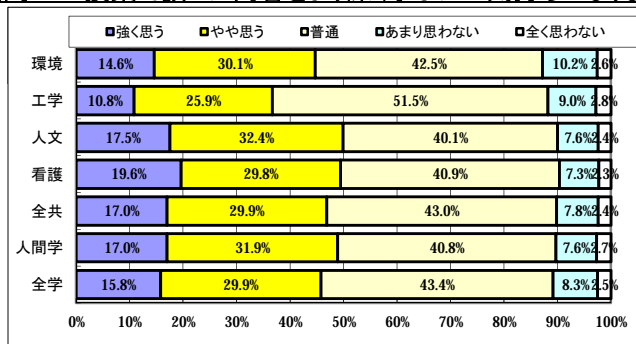
概ね授業は理解できているが、他学部等に比べて環境科学部、工学部において、「あまり思わない」「全く思わない」の率が高いことから、学生が不安を持っている可能性が高い。

また、全学共通教育において理解できていないと「強く思う」「やや思う」の割合が、57.3%から50.8%へ減少した。

全学平均では、「あまり思わない」「全く思わない」は、以下の通り年々減少している。

全学	H22前	18.7%
	H23前	16.3%
	H24前	12.1%
	H25前	11.4%

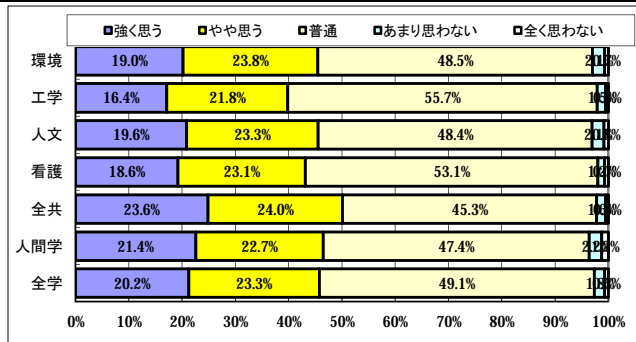
設問7 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか



全体的な分布としては例年と変わらず、半数近くが深く学びたいと回答している。

前年度同期と比較すると、深く学びたいと「あまり思わない」「全く思わない」とする回答は、全学平均ではほとんど変わらないが、人間看護学部と全学共通教育ではやや増加している。

設問8 この授業は履修の手引きの内容と一致していましたか

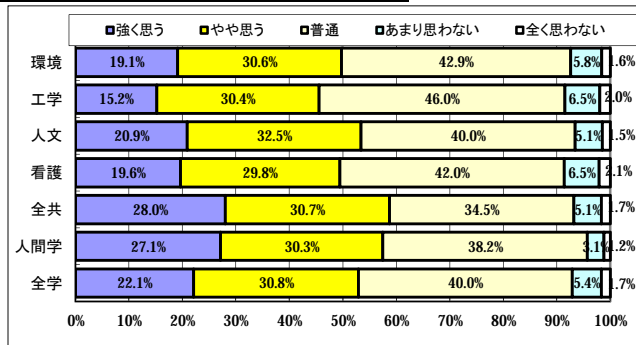


履修の手引きとの一致について、否定的な回答はどの学部等でも非常に少なかった。

前年度同期とほぼ同じ分布だが、「強く思う」とする回答は、人間看護学部と全学共通教育を除き、全学部等で少しずつ増える結果となった。

人間看護学部では、前年度同期には5.4ポイント増加したが、今年度は1.4ポイント減少している。

設問9 教員の教え方は適切でしたか



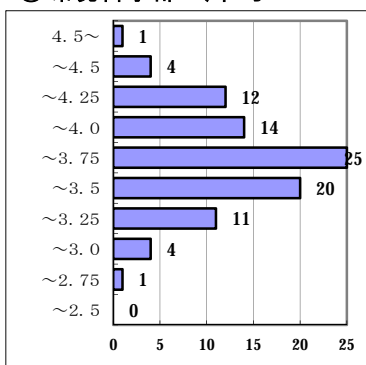
教員の教え方について、約半分の学生には満足が得られていたと思われる。
また、前年度同期と比べると、適切だと「強く思う」が全学共通教育で減少し、人間学では増加している。

全共 H24前 36.3% → H25前 28.0%
人間学 H24前 22.0% → H25前 27.1%

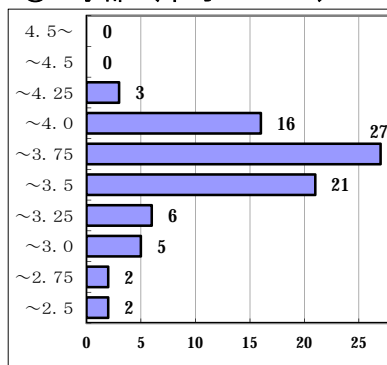
※ 設問9「教員の教え方は適切か」についての区分別分布

※ 縦軸:ポイント 横軸:科目数

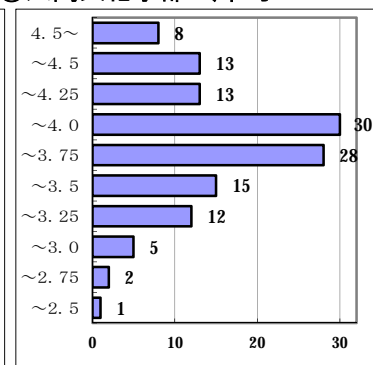
①環境科学部 (平均3.6→3.6)



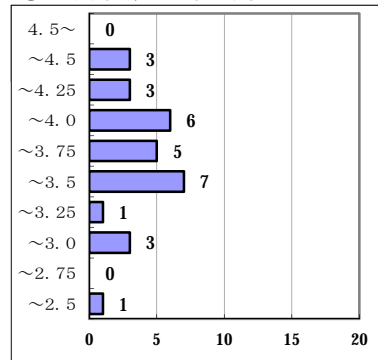
②工学部 (平均3.5→3.5)



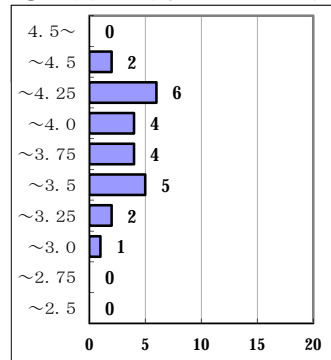
③人間文化学部 (平均3.6→3.8)



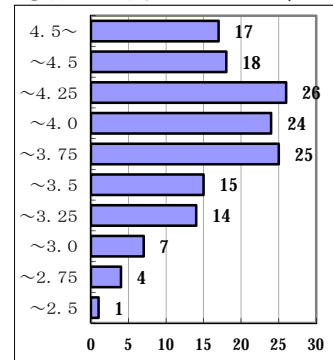
④人間看護学部 (平均3.7→3.6)



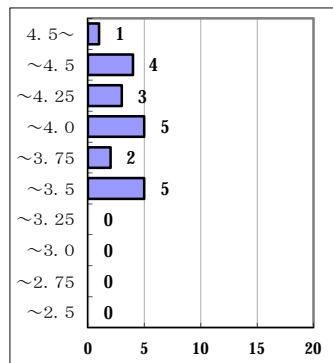
⑤人間学 (平均3.7→3.7)



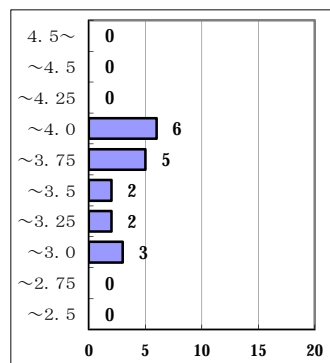
⑥語学 (平均4.0→3.8)



⑧健康・体力科学 (平均4.0→3.9)



⑨情報 (平均3.6→3.5)

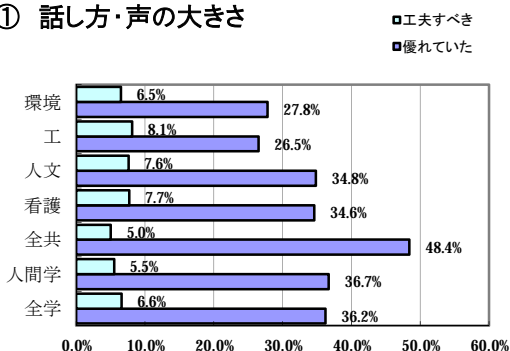


* 教え方については、3.0以下の場合、何らかの改善が必要である場合が多いことから、学部長と相談のうえ、教育実践支援室の協力を得て、授業点検を行うことが望ましい。

設問10 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)

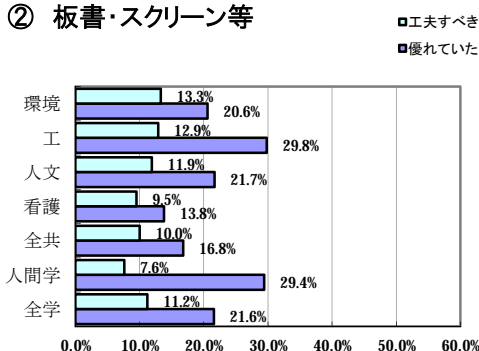
設問11 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)

① 話し方・声の大きさ



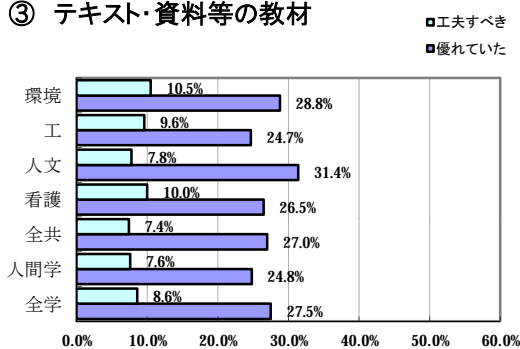
「優れていた」が、平均履修登録者数が少ない全学共通科目においては前年度同期57.9%から48.4%に9.5ポイント減少し、平均履修登録者数の多い人間学においては29.7%から36.7%に7.0ポイント増加した。

② 板書・スクリーン等



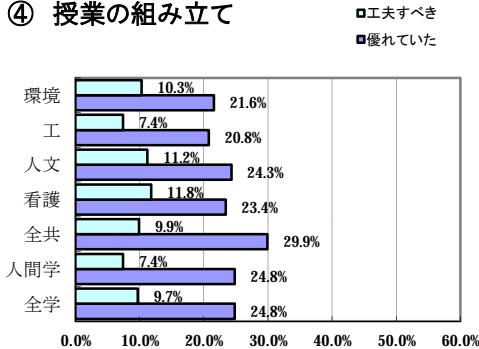
教員の個性がでるため「優れている」、「工夫すべき」という回答が拮抗する設問であるが、両方も概ねポイントが下がっている。

③ テキスト・資料等の教材



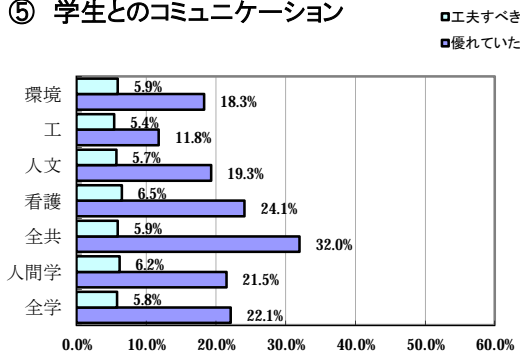
「優れていた」「工夫すべき」の両方も微減の傾向にある。特に「優れていた」とする回答が、人間文化学部では38.1%から31.4%に6.7ポイント減少し、全学共通教育については、23.9%から27.0%に3.1ポイント増加している。

④ 授業の組み立て



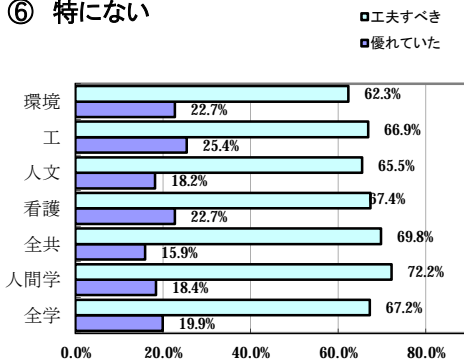
前年度前期とほぼ同様の回答となったが、「工夫すべき」が微減し、特に人間看護学部では前年度同期15.1%から11.8%に3.3ポイント減少した。

⑤ 学生とのコミュニケーション



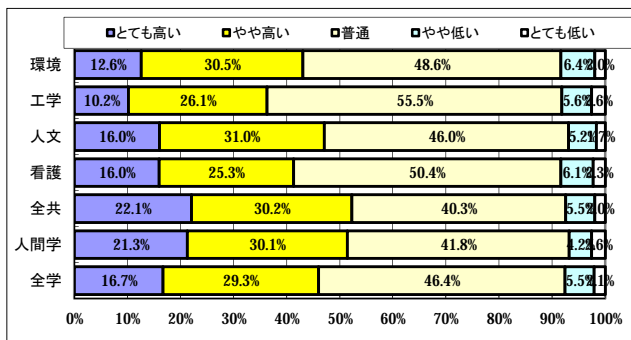
学生とのコミュニケーションについては、今まで常に全学共通教育において「優れていた」のポイントが特に高い傾向にあったが、今期は前年度同期に比べて46.9%から32.0%に14.9ポイント減少した。

⑥ 特にない



概ね7割近くが「工夫すべき」ところがないという回答であったが、「優れていたところ」も「工夫すべきところ」も特にないという回答が年々増加している。

設問12 この授業の満足度はどの程度ですか

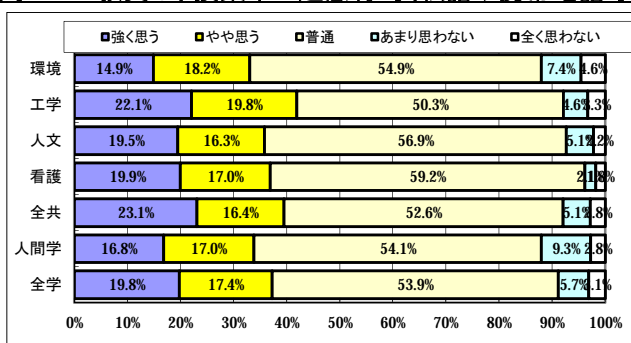


授業の満足度は、全学共通教育で高く、工学部でやや低いという傾向が続き、全学平均の割合は前年とほとんど変化がないが、人間看護学部と全学共通教育で「とても高い」「やや高い」の割合が減少している。

満足度が「とても高い」「やや高い」の割合は以下のとおり。

看護	H24前 45.2%	→	H25前 41.3%
全共	H24前 62.6%	→	H25前 52.3%
人間学	H24前 45.5%	→	H25前 51.4%
全学	H24前 45.4%	→	H25前 46.0%

設問13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置をとりましたか



本年度は、アンケート対象科目について、この質問が該当しない場合は「該当なし」と回答するようあらかじめ告知して回答することとした。

割合で比較すると、前年度同期とほぼ同じ傾向であったが、工学部で迷惑行為に対して適切な処置がとられていたと「強く思う」「やや思う」とする割合が高くなってきている。

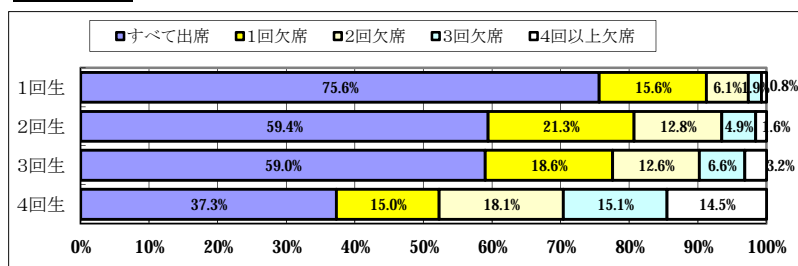
(4) 学生属性(学年別)の集計

	環境	工	人文	看護	計
1回生	2,036	2,011	2,758	812	7,617
2回生	1,844	1,708	2,338	719	6,609
3回生	1,266	1,229	1,213	851	4,559
4回生	213	225	286	92	816
合計	5,359	5,173	6,595	2,474	19,601

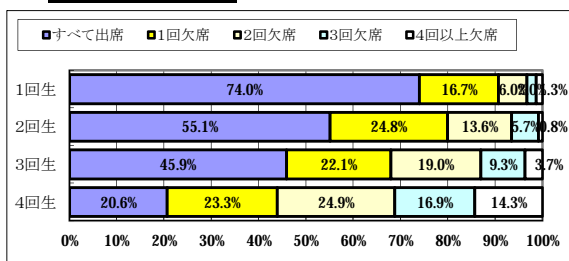
※ その他(回答数:702)は大学院生
または学部・学年が不明

Q1 どれだけ出席したか

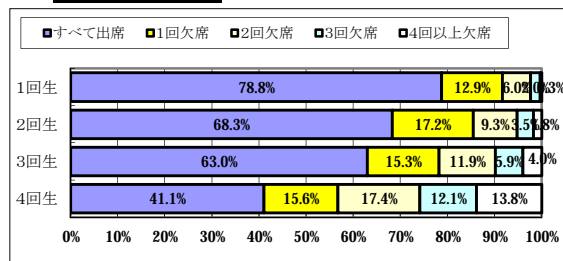
全学



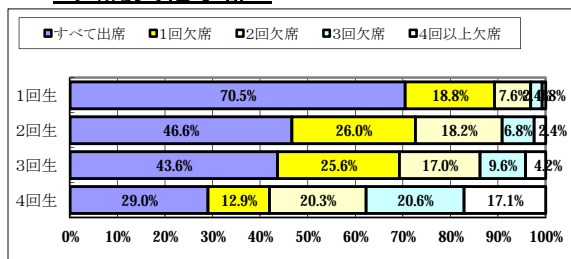
環境科学部



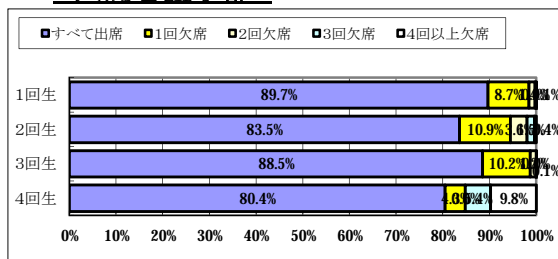
工学部



人間文化学部



人間看護学部

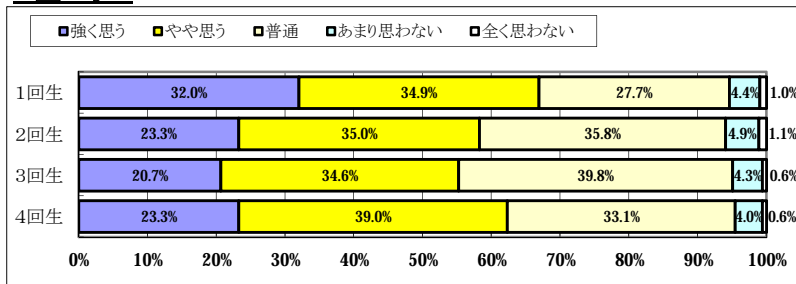


前期においては、人間看護学部を除く3学部では高学年になるにつれて出席率が下がる傾向にあるものの、前年度、前々年度は3回生の出席率が2回生を上回る傾向が見られた。今期は、高学年になるにつれて出席率が下がる傾向が明確になっている。

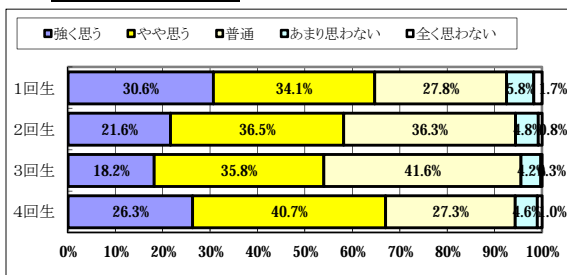
また、人間看護学部は常に4回生の出席率が高かったが、今年度は1回以上の欠席が目立つ。

Q2 受講態度は真剣だったか

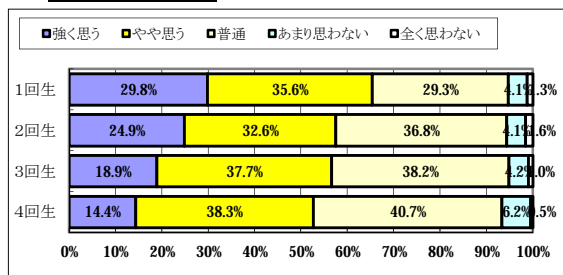
全学



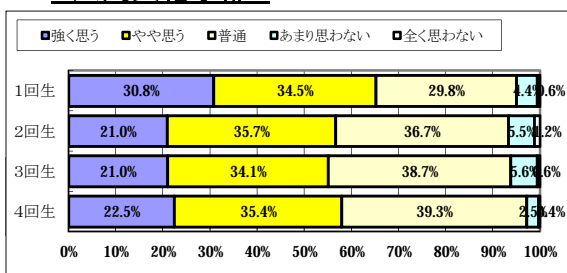
環境科学部



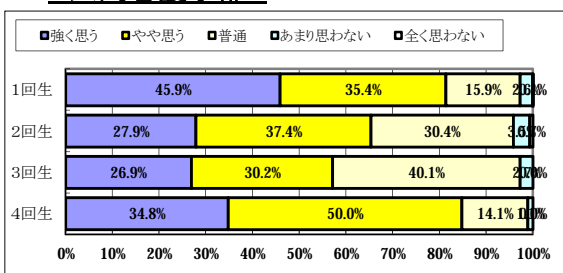
工学部



人間文化学部



人間看護学部

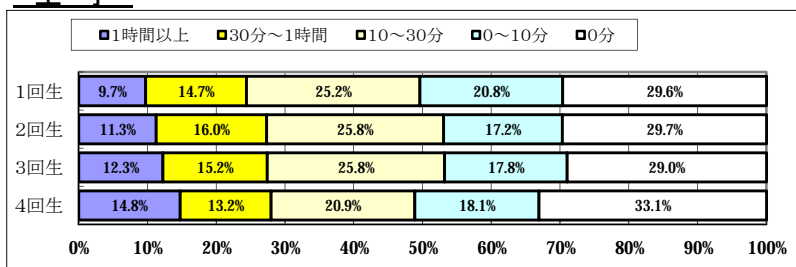


全学平均では、例年4回生と1回生で受講態度について真剣だったと「強く思う」の割合が高い傾向にあるが、今期は4回生の「強く思う」が26.3%から23.3%に3.0ポイント減少している。特に人間看護学部では、80.0%から34.8%に45.2ポイントと大幅に減少している。隔年で増減する傾向が見られるが、工学部と人間看護学部が近年では最も低い割合になっている。

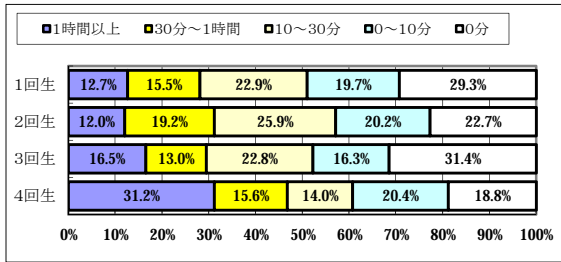
工学部 H22前 28.1% → H23前 17.5% → H24前 23.6% → H25前 14.4%
 人間看護学部 H22前 57.1% → H23前 45.5% → H24前 80.0% → H25前 34.8%

Q3 当該授業に対する毎週の学習時間

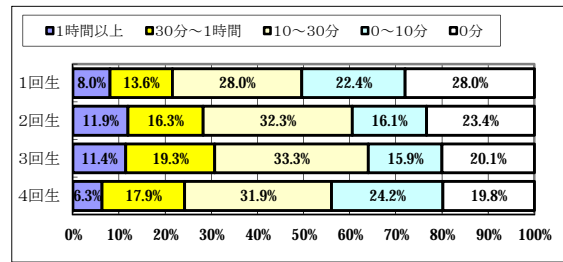
全学



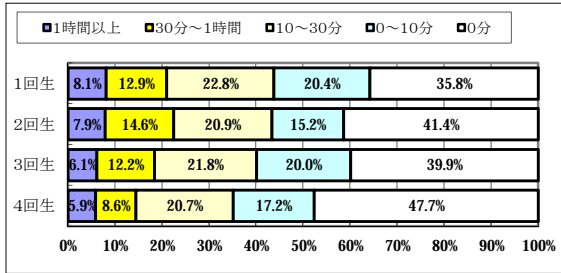
環境科学部



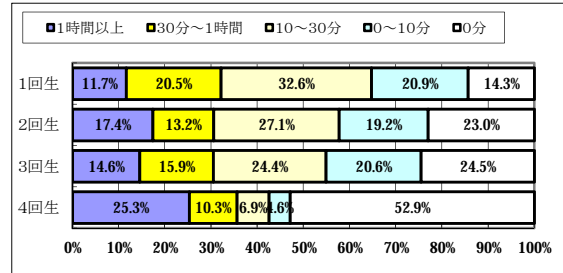
工学部



人間文化学部



人間看護学部



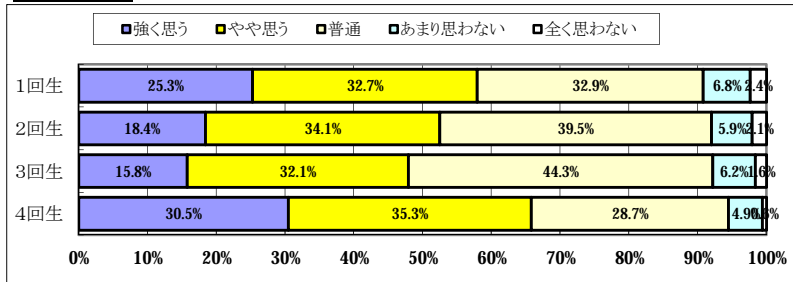
全学平均では、学習時間「30分～1時間」「1時間以上」の割合はあまり変わっていない。「0分」の割合は減少傾向にあり、2回生、3回生で減少しているが、4回生では22.9%から33.1%に10.2ポイント増加している。

特に30分以上とした割合は、環境科学部の2回生と4回生、人間文化学部の2回生と3回生、人間看護学部の2回生と3回生で増加傾向が、人間文化学部1回生と人間看護学部の4回生で減少傾向が見られた。中でも、人間看護学部の4回生は「1時間以上」が42.3%から25.3%へ、「30分～1時間」が42.3%から10.3%に大幅に減少している。人間看護学部は特に4回生の母数が少ないため影響が大きく、また隔年で増減する傾向にある。

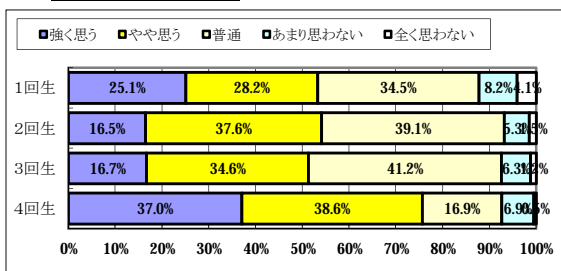
今後の、「学生の自宅学習を促す教育プログラムモデル事業」による学習時間の増加が期待されることである。

Q4 興味を持てる内容だったか

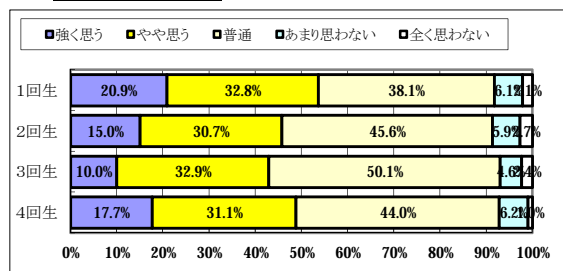
全学



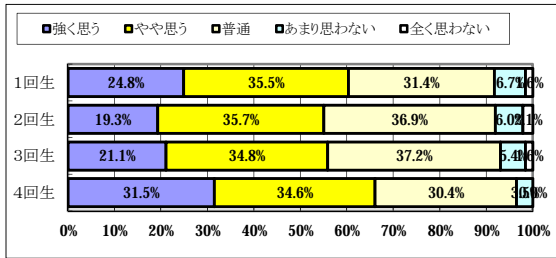
環境科学部



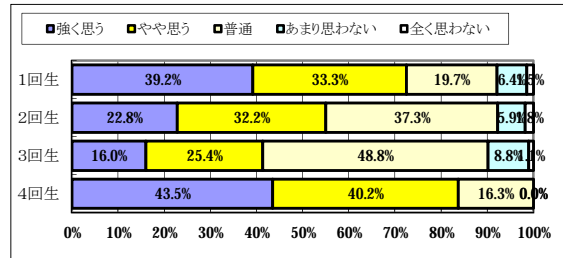
工学部



人間文化学部



人間看護学部

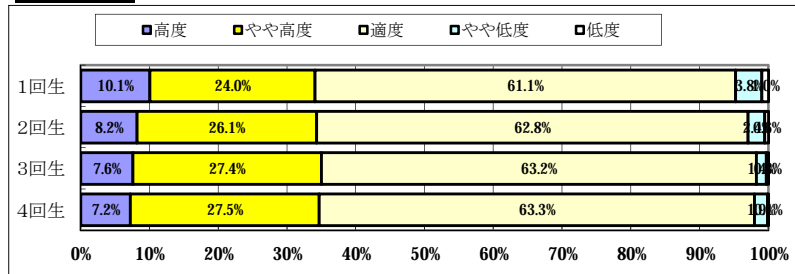


興味については、例年同じような傾向で、1回生と4回生で「強く思う」「やや思う」の割合が高い傾向にある。

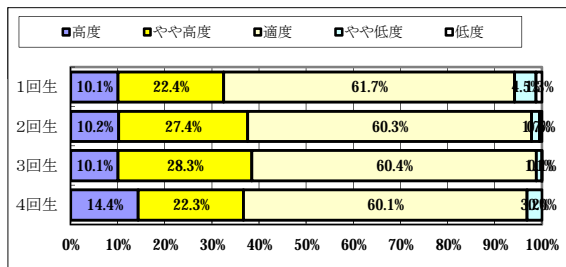
環境科学部の1回生では、「あまり思わない」「全く思わない」の割合が1割を超えている。環境科学部では昨年度前期の2回生も1割を超えていたことから、特に点検が望まれる。

Q5 授業レベルはどうだったか

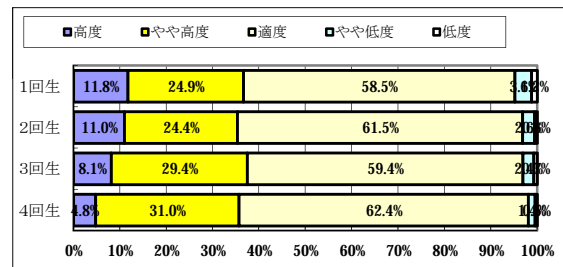
全学



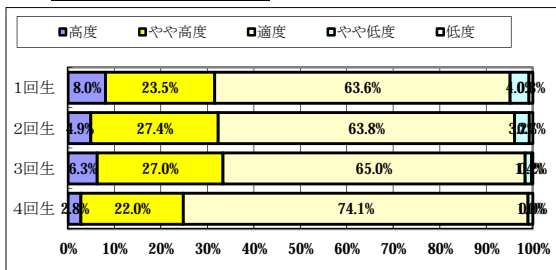
環境科学部



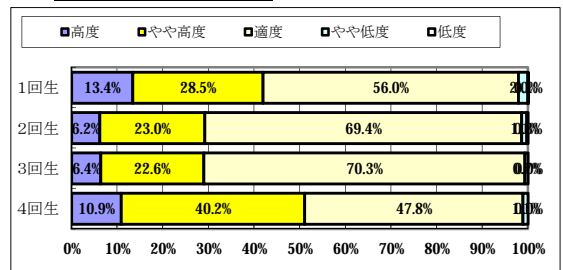
工学部



人間文化学部



人間看護学部



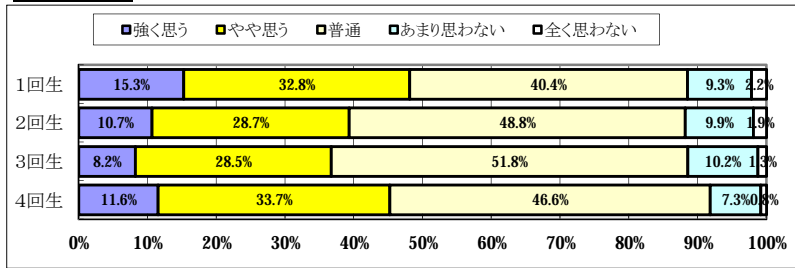
授業レベルが「適度」または「やや高度」とする回答が8割以上を占め、従来と同じような割合で推移している。

環境科学部全体と工学部の1回生と2回生、人間看護学部の1回生と4回生では、「高度」とする割合が高いことから、学生の理解の程度を確認しながら授業を進めるなど工夫が望まれる。

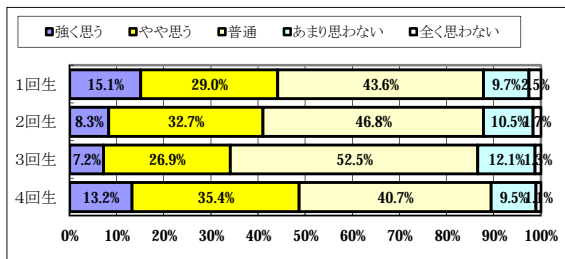
なお、1回生の「やや低度」とする割合が高いのは、全学共通教育の影響であることから、特に語学科目について、学生の能力に応じたレベル設定が求められる。

Q6 授業内容は理解できたか

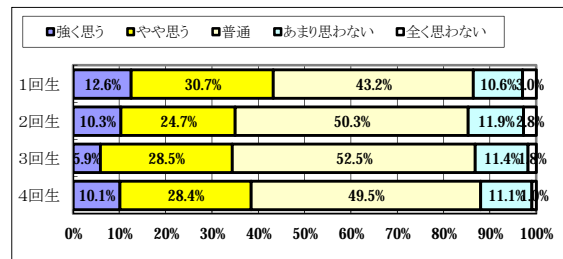
全学



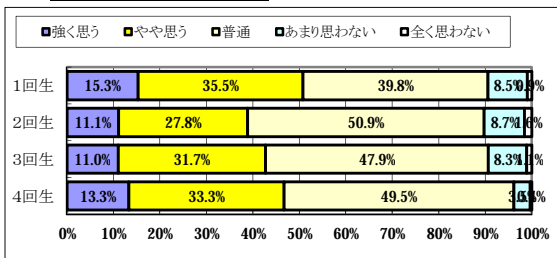
環境科学部



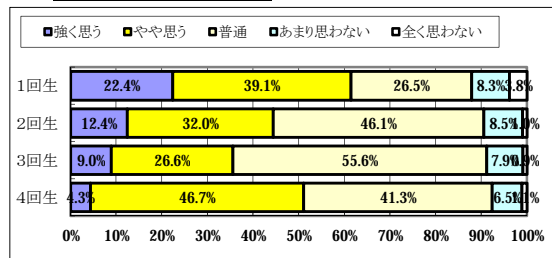
工学部



人間文化学部



人間看護学部

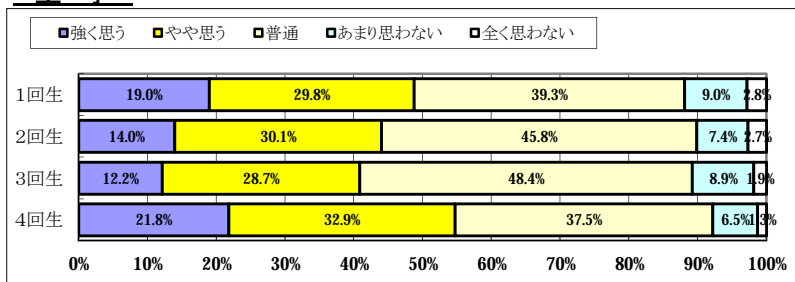


授業内容が理解できたと「あまり思わない」「全く思わない」とする回答が、すべての学年で15%以下となっており、減少傾向にある。全体の分布は例年と変わらない。

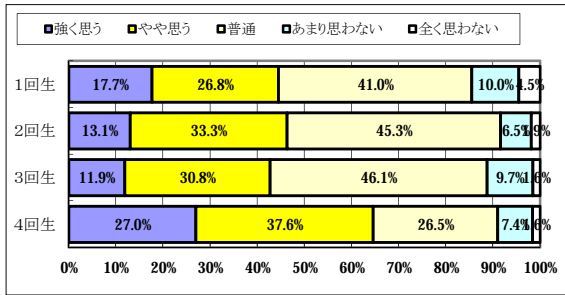
Q4の「興味をもてる内容だったか」に概ね比例する回答であったが、人間看護学部の4年生では、興味をもてるが十分理解できていないと感じている学生が多いと思われる。

Q7 より深く学びたくなったか

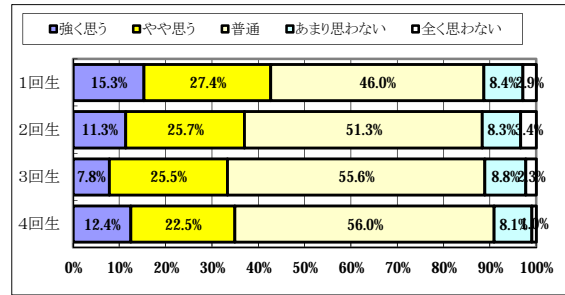
全学



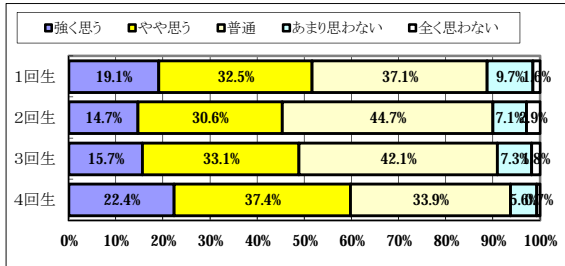
環境科学部



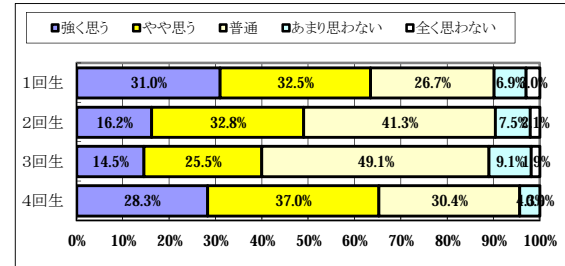
工学部



人間文化学部



人間看護学部

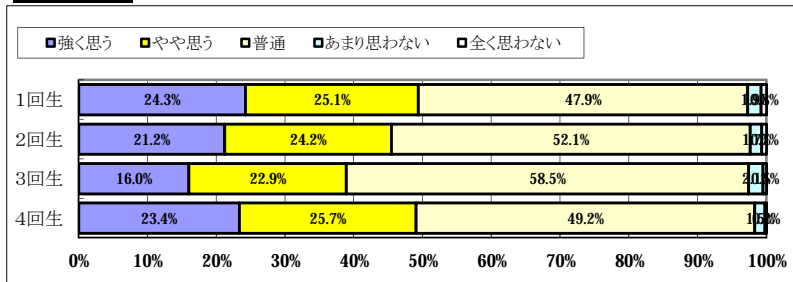


より深く学びたくなったかについては、総じて4年生のポイントが高く、前期においては、学部を問わず3年生がやや低調な傾向にある。

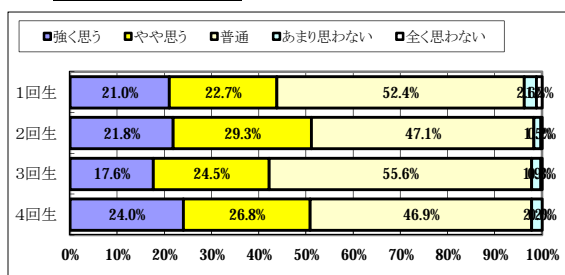
Q4「興味をもてる内容だったか」とQ6「授業内容は理解できたか」と、このQ7「より深く学びたくなったか」は、ほぼ似たような分布を示し、Q5「授業内容は理解できたか」が、他の2つの設問より「強く思う」「やや思う」の割合が少し低くなっている。興味をもてる内容であった場合は、多少理解ができなくても、さらに深く学びたくなることを示していると思われることから、今後も興味を呼び起こすような授業内容への工夫が求められる。

Q8 履修の手引きと一致していたか

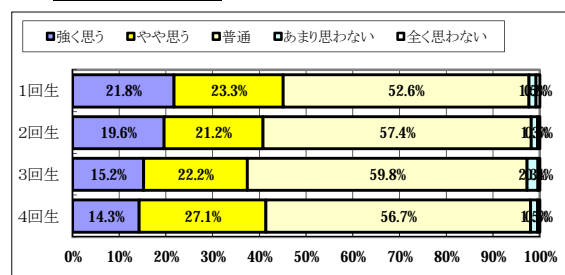
全学



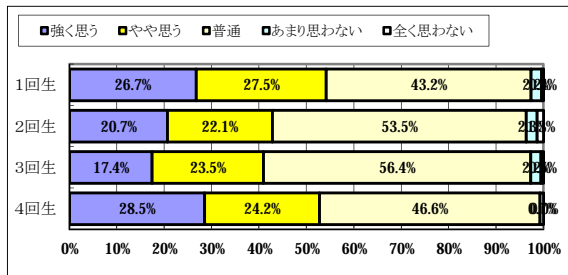
環境科学部



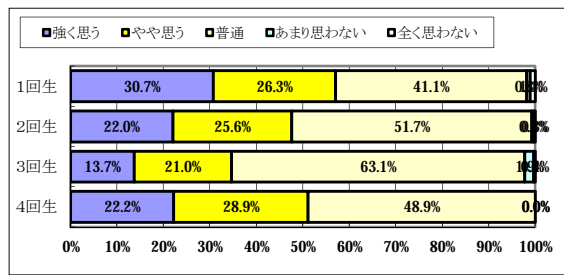
工学部



人間文化学部



人間看護学部

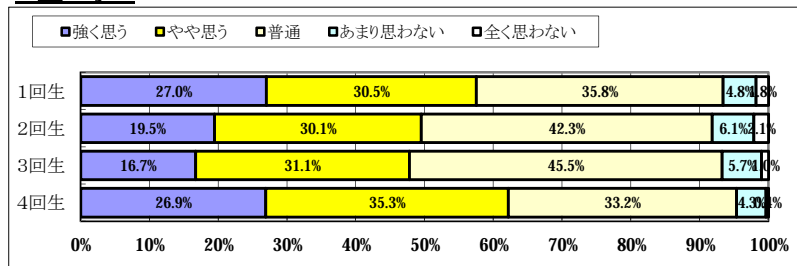


履修の手引きとの一致については、例年と同様否定的な回答はほとんどなく、全体的には手引きと一致していると思っている学生は各学年で増加しているものの、依然として履修の手引きと一致しない科目が存在する可能性がある。

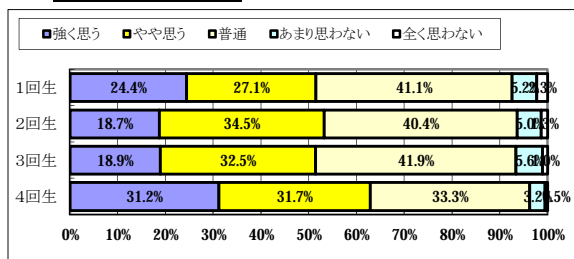
各学部において、手引きと一致していないと思われる科目がある場合は、カリキュラムポリシー等に沿って手引き(講義概要)の内容を点検し、手引きに沿った授業へ改善することが求められる。

Q9 教員の教え方は適切か

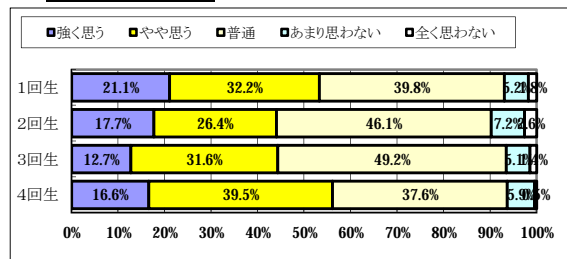
全学



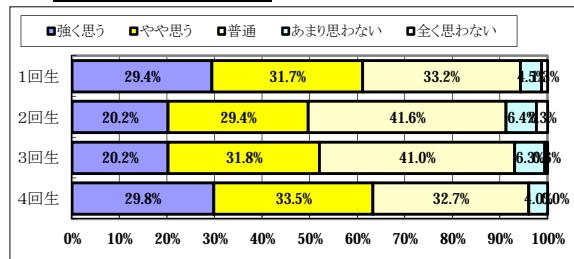
環境科学部



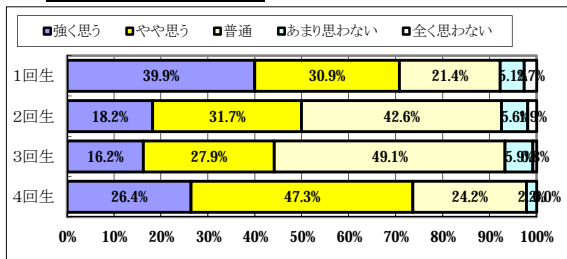
工学部



人間文化学部



人間看護学部

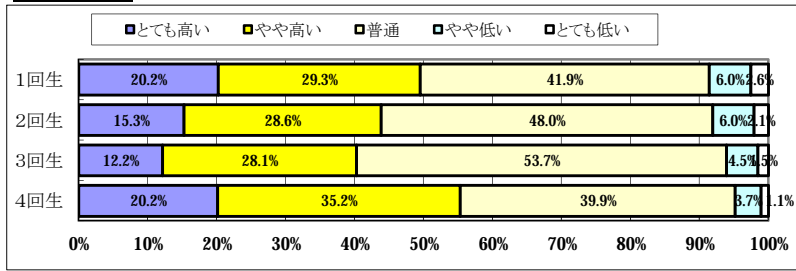


教員の教え方の適切さについて、「強く思う」の割合は1年生と4年生で高い。

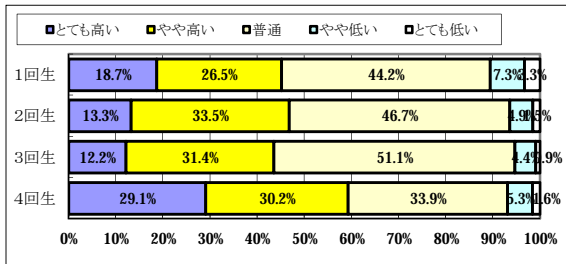
概ね半数の学生は教え方が適切であると「強く思う」「やや思う」と感じているが、1割弱の学生は、何かしらの不満を持っているものと考えられる。FD等を活用して、更なる授業改善が求められる。

Q12 授業の満足度

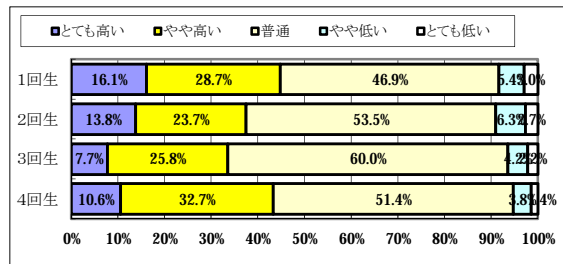
全学



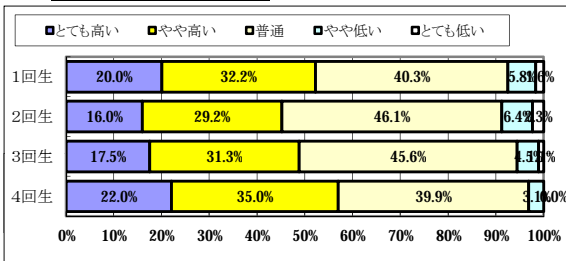
環境科学部



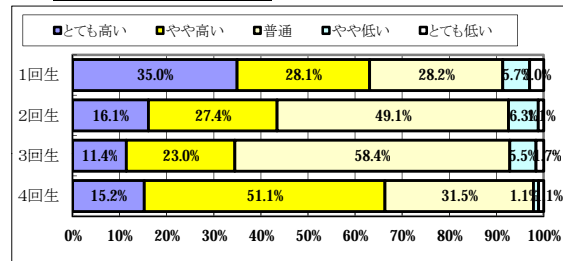
工学部



人間文化学部



人間看護学部

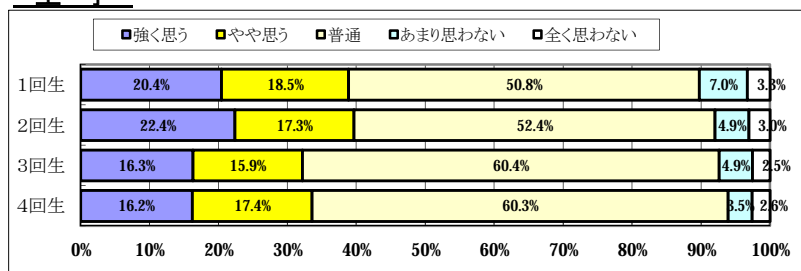


例年通り、授業の満足度は概ね教員の教え方に比例する。

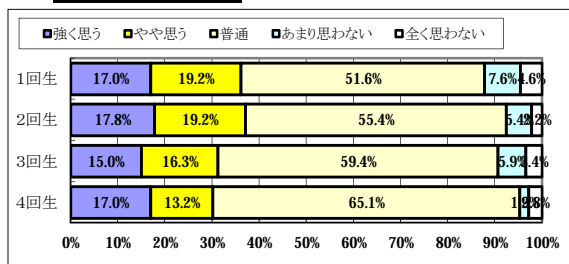
ただ、教員の教え方に比べて、1年生において授業の満足度が「やや低い」「とても低い」とする回答が若干多い。入学時の期待と現実の授業とのギャップの可能性や、教え方以外で授業に不満がある可能性が考えられる。

13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置を取りましたか

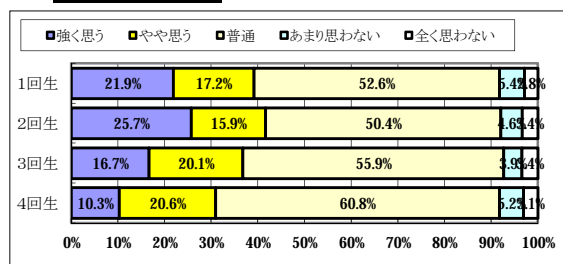
全学



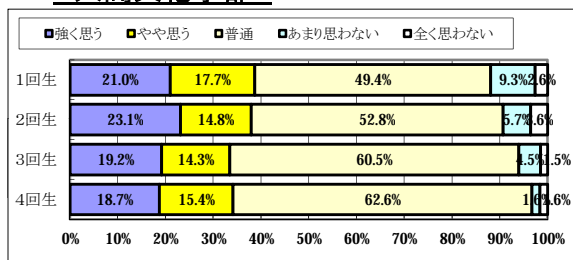
環境科学部



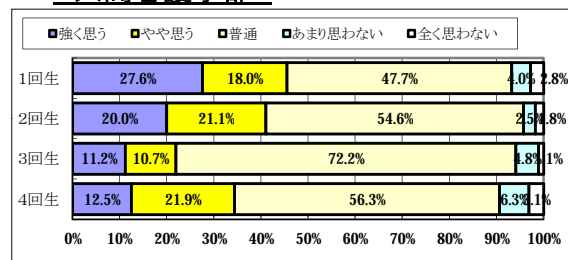
工学部



人間文化学部



人間看護学部



授業中の迷惑行為に対して、適切な処置が取られていないと感じている学生が1割弱存在する。

前年度同期に比べて、1回生で適切な処置が取られていないと感じる割合が高かった。迷惑行為を行う学生が増えたとも考えられるが、当然のことながら入学後の早い段階で厳しく対応することが求められる。